

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成 27 年 9 月 25 日

第 65 号

老いを生きる

9 月は老いを敬う敬老月間です。年を重ねると、からだの衰えはいかんともしがたいものですから、敬れてもなあと「百までも生きる」と言えば嫁頭痛（天声人語）と 85 歳の女性がつぶやいています。

江戸時代の禅僧である仙厓禅師は「老人六歌仙」のなかで、しわがより腰もまがり、頭は禿げ、手は震え足はよろつき、歯は抜け落ち耳も目も遠くなり、体温調節もままならぬ、湯たんぽや懐炉、尿瓶が必要と老いを歌っています。

グリム童話のなかに、神様がいろいろな動物の寿命を決める話があります。神様は口バにも、犬にも、猿にも、そして人間にも 30 歳の寿命を与えようとしませんが、口バは荷物を運ぶ苦しい生活が長いのを嫌がり、犬も猿も 30 歳の寿命を短くしてほしいと神様に願い出ます。神様は、口バ、犬、猿の寿命を短くした 40 歳分の年齢を人間に与えました。それ以来人間は、30

年の生涯を楽しんだ後で、重荷に苦しむ口バの人生、歯が抜け落ちた老犬の人生、子どもじみた猿のような余生を送ることになったとあります。

衰えることは悪いことなのでしょうか。誰もが年を重ね、いずれは老人と呼ばれるようになることは、避けられない事実です。ゆえに心の持ちようで、生き方が変わるのではないのでしょうか。

大正三美人のひとりで教育者・



▲妙心寺派管長・嶺興嶽老大師 筆

歌人の九条武子は「見ずや君あすは散りなん花なれどいのちの限りこのときに咲く」と詠んでいます。明日は散るであろう花でさえも、大切な命を生ある限り生きる姿に励まされ、癒される歌です。

年を重ねて衰えたからだを悔やむより、今朝の目覚めに感謝する心を持ち続けたいものです。

「寿山万丈高」（じゅざんばんじょうたかし）

「寿山」は寿命、長寿のたとえ、「万丈」とは極めて高いことです。その寿命は万丈の山のごとく神秘である。

「布袋」

後梁の禅僧。明州奉化の人。名は契此、号は長汀子。四明山に住み、容貌は福々しく、体躯は肥大で腹を露出し、常に袋を担って喜捨を求め歩いた。世人は弥勒の化身と尊び、その円満の相は好画材として多く描かれ、日本では七福神の一とする。（〜九一七）。「広辞苑」より

脱原発と戦争のない平和な社会の実現に向けての実践を決意

本年 7 月に妙心寺派宗務総長が「戦後七十年に際して」を、続いて妙心寺派宗議会が議会において「宗議会宣言文」を採択しました。

戦後七十年に際して

まもなく我が国は終戦から七十年の節目を迎えますが、歳月を経る中、次第に戦争の恐ろしさや悲惨さが薄らいで来た様に感じます。今一度、戦争は尊い生命を不条理に奪う最大の人権侵害であることを確認すると共に、先の大戦で宗門が戦争に協力した事実を思い起こし、二度と同じ轍を踏まぬよう、静かに自心を省みなければなりません。

『宗門安心章』にも「自ら殺し、他をして殺さしむることなかれ」とあるように、不殺生は仏教徒の基本的戒律です。私達は如何なる時も、お互いの生命を尊重し、共に社会の平和と人類の幸福の為に精進努力致しましょう。

平成 27 年 7 月 16 日

臨済宗妙心寺派

宗務総長 栗原正雄

臨済宗妙心寺派

宗議会宣言文

日本は、今年終戦 70 年を迎えたが、広島・長崎での被爆者平均年齢が初めて 80 歳を超えるに到り、戦争の真実と悲惨な記憶は、風化の一途を辿るばかりである。

さきの大戦で犠牲になられた国内外の多くの方々に、心より追悼の意を表するとともに、二度と同じ過ちを繰り返してはならないという非戦の誓いを、強く肝に銘ずるべきである。

かつて戦争への舵を切り続けてきた日本国は、結果的に、国内のみならず近隣諸国に多大な迷惑をおかけし、我が宗門も戦争に協力してきた事実を決して忘れてはならず、その反省の上に妙心寺派教団・宗議会も懺悔文を表明した。

しかし、世界の情勢を鑑みるに、武力により国際紛争を解決しようという傾向が見られる昨今、宗門関係者は、平和国家としての歩みを守り、同じ過ちを侵すことのないよう、戦争は人間の尊い生命と尊厳を不条理に奪う最大の人権侵害行為であるこ

とを、社会に訴え続けなければならない。

現在、東日本大震災福島原発事故により、「原発は原子力爆弾とは異なり、安全で平和のために役立つ」という神話がもろくも崩れ、原発も人権侵害を引き起こす施設であることが内外に露呈した。然しながら、原発事故による多くの被災者が、未だ帰宅できずにいる現状を忘れたかのごとく、原発再稼働に踏み切ったことは、大変遺憾である。

宗議会としては、4 年前に「原子力発電に依存しない社会の実現」宣言を表明したが、それをさらに推し進め、一般家庭の電力の自由化の際には、少しでも生命を守ることに結びつく電力源の選択を願うものである。

未来の子ども達のためにも、世界の人々と手を携えて、脱原発と戦争のない平和な社会の実現を、目指していくことを宣言する。

2015（平成 27）年 9 月 17 日

第一二九次定期宗議会

臨済宗妙心寺派宗議会



清掃活動へのご参加ありがとうございました

今年度の松禪寺総代会及び評議員会において協議し決定された寺院の清掃活動の第1回を、5月31日（日）に、第2回を8月2日（日）に、いずれも午前8時から約2時間にわたって汗を流していただきました。5月の第1回目は天気予報では雨だったのですが、幸いに雨もなく、むしろ曇り空で涼しく草刈りなどの作業にはもってこいと、総代はじめ清滝、本城、柴地、大貝、佐田、石原、久畑の評議員と協力者など総勢19人が集まって、寺院の



▲霊園から境内周囲すべての草刈りを行っていただきました

周囲の草刈りなどを行っていただきました。

第2回目も同様に、総代はじめ貝田、上山根、下山根、平田、佐々木の評議員と協力者など総勢19人のご協力を得ました。作業内容は境内周辺の草刈りと境内の掃除などで、おかげさまで美しい境内を維持できました。ご参加いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

感謝。

秋彼岸会を執り行いました

秋彼岸会の法要を9月23日（水）に執り行いました。当番さんには朝から料理にいそしんでいただき、法要後に全員で食事をいただきました。その後、ビデオ「臨済禅の源流」を鑑賞しました。これは、臨済禅師1150年・白隠禅師250年遠諱記念として、臨済宗黄檗宗連合各派合議所の企画で制作されたものです。難しい内容かと思いますが、映像とナレーションで少しはその内容に親しんでいただくことができました。

妙心寺派管長さまからの米寿のお祝いをお届けいたします

妙心寺派花園会本部への申請により、今年も米寿を迎えられた3名の方々に、妙心寺派管長・嶺興嶽老大師よりお祝いの表彰状と輪袈裟をいただきました。誠にめでとうございます。

お家に長寿の方々が居られるのは家庭和楽のもとであり、一家繁栄の瑞兆とお祝い申し上げる次第です。ますますのご長寿を保たれるようお願いいたします。

◎米寿

栗尾・武田ふさ様（昭和3年生まれ）
栗尾・水縄ちゑ乃様（昭和3年生まれ）
出石・森マリ子様（昭和2年生まれ）

※お願い Ⅱ松禪寺花園会員（檀信徒）すべての生年月日は把握していませんので、今年米寿（数え、満年齢も可）を迎えられる同居家族が居られましたら、ぜひ住職までお知らせ下さい。お祝いの品を妙心寺派花園会本部へ申請いたします。



達磨忌・開山忌のご案内

松禪寺では左記のとおり達磨忌と開基開山忌を執り行います。どなた様もどうぞお参りください。お斎には、けんちん汁と茶めしをお出しいたします。

【ご案内】

日時 11月3日 (火)

午前8時半より当番の調理開始

午前11時より法要

正午頃に齋座

場所 松禪寺

↓お申し込み お忘れではありませんか？↓
↓まだ、間に合います。9月末まで↓

松禪寺・桂昌寺主催

大本山妙心寺参拝の旅

はんなり・手作り「閑臥庵」での京懐石普茶料理と
たっぷり！！錦市場で京みやげお買物の旅

拝啓 盛夏の候、檀信徒の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は菩提寺の護持に多大の御尽力を賜わり厚く御礼申し上げます。
この度、松禪寺・桂昌寺主催にて本山への団体参拝を計画いたしました。大本山妙心寺では諸堂拝観や団体廻經(法要)をお受け頂き、午後は京の台所として400年の歴史を持つ錦市場にてお買物をお楽しみ頂きます。昼食は陰陽師安倍晴明開眼の零符神像を祀った瑞芝山にある閑臥庵にて、京懐石普茶料理をお召し上がり頂く内容となっております。
ぜひ皆様お誘い合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。 合掌

◆旅行期日 平成27年10月18日(日) [日帰り]

◆旅 費 19,500円 (本山での団体廻經料含む)

◆申込方法 9月15日(火)までに申込書に旅費を添えて松禪寺までお申込下さい。詳しいご案内は出発日が近付きましたらご連絡申し上げます。

◆旅程(全行程貸切観光バス利用)

各 地 区 ― 須 知 ― (京都縦貫道) ― 大本山妙心寺 (法堂・開山堂・玉皇堂等拝観) ―
6:45～7:15 発 8:45～9:00 9:50 ～ 12:30 [11:00～12:00 団体廻經]
― 閑臥庵 (京懐石普茶料理・昼食) ― 錦市場 (買物) ― (京都縦貫道) ― 須 知 ― 各 地 区
13:10～14:30 15:00～16:00 17:00～17:15 18:50～19:20 頃

※旅程は道路事情により多少変更が生じる場合があります。ご了承下さい。

◆お申込み・お問合わせ

松 禪 寺
〒668-0363 豊岡市但東町栗尾469
TEL 079-655-0034



【閑臥庵 料理イメージ】

◆手配旅行業者
〒620-0940 福知山市新南町三丁目57番 番町第一ビル 2F
TEL 0773 (23) 5055 FAX 0773 (23) 6303
担 当 者: 田村 正人

松禪寺本山参拝の旅
申 込 書 (9月15日締め切り)
平成27年 月 日
参加者名 年齢 才
参拝之証を必ず忘れずに申し込み下さい。
参拝之証のスタンプが4個・9個・14個ある方は
〇印をして下さい。表裏があります。
・4個 ・9個 ・14個 松禪寺 御中

松禪寺本山参拝の旅
領 収 書
平成27年 月 日
様
19,500円
(但し、旅費として)
松 禪 寺 印

護持会会費 (後期分) 納入のお願い

9月は松禪寺護持会の通常会費(後期分)をお願いする月です。松禪寺は檀信徒の皆様方、護持と発展を願う護持会費で運営されています。各評議員さんより納入の依頼がありますので、何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。遠方の皆様には個別に郵便局の払込取扱票をお送りいたします。

なお、賛助会員の方々へは本年2月に納入依頼済ですので、後期分のお願いはありません。

永代供養墓「大慈大悲塔」

契約者募集中

宗教・宗派問いません

合祀ではなく一霊一家個別納骨できます

骨壺で保管するのではなく埋葬いたします

先祖代々など複数霊位のお祀りも可能

臨済宗妙心寺派

松禪寺

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾469

電話 0796 (55) 0034

FAX 0796 (55) 0066

E-mail kenpou@syozen.com



ご相談・ご予約
承ります

大慈大悲塔

【四方山話】稲刈りも終盤でしょうか、コンバインの音が山間に響き、平穏無事な日々が続いています。しかし、各地で水害による被害が起きています。当所も平成16年10月に甚大な被害を受けたことを忘れてはなりません。ご用心、ご用心。